

推薦してみたい
この一冊

大西正曹 著 同友館 2021年2月5日 本体定価1700円

『VUCA時代に挑む中小企業
まいど教授が注目する16社の事例と提言』



関西大学名誉教授
大西正曹 先生

■プロフィール
関西大学 名誉教授 / 元社会連携部産学官連携コーディネーター / 一般社団法人大阪モノづくり観光推進協会理事 / 大館市エコタウン運営委員会名誉顧問 / 大阪シティ信用金庫顧問 / 東大阪市技術交流プラザ委員長 / JICA中小企業育成支援講師 / 関西大学バイオファイナリープロジェクトメンバー / 東大阪市産業技術支援センター運営委員会委員長 / 共同通信社政経懇話会講師



「書評」

■カバー写真が語る大西名誉教授の真骨頂

関西大学名誉教授大西正曹（まさとも）先生の最新作。14社の事例とコラムが2つ。歯切れよい文章でも読みやすい。

何よりも、表紙カバーの写真8枚と裏表紙カバーの写真6枚に写し出された大西名誉教授と経営者が握手をして寄り添う姿が本書の特長すべてを物語っている。大西先生は40年以上、あらゆる業界の中小企業を訪問調査されてこられた。「まいど!」の掛け声ともに、通い詰めて顔なじみになった中小企業経営者から、いつしか「まいど教授」のニックネームで呼ばれるようになった。本書では大西先生が実際に自身の足で現地に赴き、ご自身の眼で現場を見て、ご自身の耳で経営者の生の声を聴いたからこそ知り得た知見がまとめられている。

これまで大西名誉教授は『中小企業再生の道』（関西大学出版部、2013年；精選版、晃洋書房、2019年）など、さまざまな著書の中で、数多くの中小企業の事例を取り上げてこられた。その中から、「ここぞ」と目星をつけられた企業を厳選され、近年再び訪問された成果が本書である。14枚の写真には、先生が経営者との間に築かれた長期間におよぶ関係性が映

し出されている。中には、若き後継者と先代と一緒に写った写真もある。後継者だけ写った写真もある。事業承継は中小企業経営の要であるが、2世代に渡って接してこられた先生だからこそわかる本質がある。コロナ禍でソーシャルディスタンスを取らなければならない現在、経営者とがっちり握手をし、少し顔を傾けて経営者に寄り添っている先生の姿には元気づけられる。

■コロナ禍に世に問う本書の意義

大西名誉教授が厳選した企業の再訪問行脚を続けておられた時、社会をコロナ禍が襲った。VUCA（不安定・不確実・複雑・曖昧）な時代を象徴するコロナ危機の出現を受けて、中小企業研究に半生をかけてこられた先生の使命感はこれまで以上に高まった。紹介された企業にとっての正解がすべての企業に当てはまるわけではない。VUCA時代に自社にとっての正解を考えるヒントとして「この企業はこんなことをしたのか」と捉えてほしい、と先生は締め括る。

（一社）大阪能率協会 参与 商学博士（関西大学） 亀井 克之

月刊雑誌 産業能率 昭和三十三年七月七日 第三種郵便物認可 令和三年五月一日発行

（七〇六）（奇数月）

（定価一〇〇〇円）

一般社団法人大阪能率協会発行

大阪府商工労働部編集協力

産業能率
INDUSTRIAL EFFICIENCY

2021

May Jun
5-6

薫風号

2021年5月1日発行
（奇数月の1日発行）
ISSN0289-016X
昭和33年7月7日第3種郵便物認可



OMA 一般社団法人大阪能率協会